

常任委員会報告

12月7日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

総務常任委員会 (12月11日)

質問 議案第94号 財産の無償貸付について、小城市授産場は老朽化しており、無償貸付の期間中の破損や故障は契約に入れているのか。

答弁 基本的には事業者での対応と考えている。細かい契約は作成しておらず、協議しながら契約書に明文化したい。

質問 無償貸付の期間内に事業者からの撤退はどのくらいか。

答弁 事業者側の収益が第一で、そうならないような条件等を提示している。赤字の場合は撤退もありえると羊羹組合にも伝えてある。3年以内の無償貸付期間中でも違約金は発生しない。

質問 議案第95号 平成29年度小城市一般会計補正予算(第4号)で、歳入の市税の固定資産税が増加しているが、どれくらい建物が増加しているのか。

答弁 27年度の実績と28年度の比較で約4,500万円増加。

29年度も若干増加。特に増加したのが家屋分が約1,400万円の増。アパートは29年度だけで30棟。一戸建ての新築は210件。



▲民間業者に無償貸付される小城市授産場

文教厚生常任委員会 (12月12日)

質問 議案第89号 小城市野外研修センター条例の一部を改正する条例について、施設を廃止した後の使い方はどうなるのか。

答弁 現在も一部に文化財を置いてあるが、当面は文化財の倉庫として活用したい。周辺については荒廃しないような整備を行っていききたい。



▲本年度末で廃止予定の川内野外研修センター

質問 議案第95号 平成29年度小城市一般会計補正予算(第4号)の子育てワンストップサービス支援事業について、この事業で今の状況からどのように変わるのか。また、このサービスを受けるにはマイナンバーカードがなければいけないのか。

答弁 この事業を導入することにより子育てに関する様々な電子申請ができるようになる。児童手当については、受給資格と額の認定請求や現状届等で、保育分野については、保育施設の利用申し込みなどが想定される。母子保健では妊娠届、ひとり親支援については、児童扶養手当の現状届などを国は想定している。この事業を導入することにより自宅のパソコンやスマートフォンで申請ができるようになる。電子申請するにはマイナンバーカードが必要になる。

産業建設常任委員会 (12月13日)

質問 議案第90号 小城市まちなか市民交流プラザ条例の一部を改正する条例について、今までサテライト教室として西九州大学が使用していた時の使用料はどうなっていたのか。また、サテライト教室で実施されていた市民講座等の来年度の計画は立っているのか。

答弁 市の行政財産使用料条例に基づいて徴収している。金額として120万円の使用料を現在まで頂いている。平成28年度は市民講座や健康教室で年間91回、利用者は1,333人で開催されている。これについては引き続き30年度以降もやっていくという方向で指定管理者と市と西九州大学で協議を行っている。

質問 議案第95号 平成29年度小城市一般会計補正予算(第4号)のうち、多面的機能支払交付金について、現在取り組まれている面積はいくらか。

答弁 農地維持支払いの分で取り組まれているのが2,763ha、資源向上共同活動分で2,699ha、資源向上の長寿命化で取り組まれている面積は2,057haとなっている。



▲ゆめぶらっと小城一階の平面図
左側中段がサテライト教室